

起業家支援財団 事務局通信 NO.14



9月25日(火)横浜ランドマークホールで行われた
中小企業基盤整備機構主催のベンチャーSPIRITS
2012 in 横浜での松井理事長による基調講演

発行日 平成24年10月15日(月)
発行 公益財団法人起業家支援財団
事務局 〒231-0003 横浜市中区北仲通3-33
TEL 045-263-9222 FAX 045-263-9220
www.shienzaidan.or.jp info@shienzaidan.or.jp
発行責任者 羽田 清 編集 治田 友香

残暑から一転、朝夕はめっきりと涼しさを感じる季節となりました。今回は、平成24年度第2四半期から第3四半期の報告をいたします。

本年5月、内閣府からの受託事業である iSB 公共未来塾を受け継ぐ形で「YSB スクール」の第1期がスタート、9月より第2期が進行中です。第1期、第2期ともに定員50名をはるかに超える応募があり、夜間、休日の講義にも拘わらず、皆さんとても熱心に受講されています。

また学生起業塾も予定通り進行しています。奨学生には YSB スクールのメンター起業家による講義も聴講させているところです。

早いもので、12月には来年度の事業計画を審議いただく臨時理事会・評議員会も日程にのぼってまいりました。鋭意準備を進めてまいりましたので、引き続き、ご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願いいたします。

(専務理事 羽田 清)

●理事長講演 ベンチャーSPIRITS 2012 in 横浜

9月25日(火)横浜ランドマークホールで開催された中小企業基盤整備機構主催のベンチャーSPIRITS 2012 in 横浜において『ウェルカム・トラブル～松井流、起業家の流儀～』と題して約1時間にわたり松井理事長による基調講演が行われました。(上掲写真)本イベントはチャレンジ精神の重要性を広め、創業やベンチャーに対する理解、関心を全国的に高めるために、新規性・革新性に富む企業、成長性の高い企業、社会的課題の解決に取り組む企業等の経営者を創業・ベンチャーの優良事例として広く紹介し、創業を啓発・促進する事業として中小機構が取り組んでいるものですが、2012年度はアルプス技研の創業者であり当財団の理事長でもある松井に基調講演の依頼があったものです。また基調講演のあとで行われたパネルディスカッションでは当財団の評議員でもあるTNPパートナーズの呉雅俊氏がモデレーターを務められました。

●学生起業塾の開催

第5期奨学生による学生起業塾は、第34回(6月12日)、第35回(8月2日)、第36回(8月22日～23日(合宿))、そして第37回(9月25日)と予定通り開催しましたが、第34回と第37回についてはYSBスクールにおけるメンター起業家による講演も聴講してもらいました。

また第35回では、株式会社1002(音楽イベントのプランから実施運営までの一貫したプロデュース業務)の徳永社長に講演をお願いし、起業塾終了後はフェリス女学院大学院生(奨学生の1人)のコーディネイトによ



(フェリス生によるミニコンサートの様子)

るフェリス生によるミニコンサート（弦楽四重奏）と交流会を開催しました。さらに第36回は合宿による各ビジネスプランのブラッシュアップを行いました。今年は昨年の葉山から地元に変更、横浜ホステルビレッジ（寿町）という、かつての簡易宿泊所を海外からのバックパッカー向けに格安のホテルにモデルチェンジした地域活性化モデルの宿泊所に泊りました。奨学生にとっては貴重な体験になったものと思います。

●YSB（横浜ソーシャルビジネス）スクールの実施

全3期のうち、第1期（5月～6月）を終了、現在第2期（9月～10月）を開講中です。各期定員50名に対し、応募者数は第1期72名、第2期71名と大変好評です。年齢層も19歳から88歳と幅広く、社会起業に対する関心の高さを目のあたりにしているところです。

●インターンシップの受け入れ

今年も神奈川大学経営学部より男子学生1名のインターンシップ生を受け入れました。期間は8月1日から30日までの間の10日間を指定、学生起業塾（合宿を含む）にも参加して頂きました。今年で3回目になりますが、同大学より当財団へのインターンシップを希望する学生は、目的意識が高くマナーもしっかりしており、財団内の評価・評判は上々です。

また今年には福島県立相馬農業高校飯館校から、地元での受け入れ先がないため、その取り次ぎ役であるSDCハート様からの依頼を受け、高校1年生男女各1名を、7月24日～26日の3日間特別に受け入れしました。（SDCハート：震災と原発で神奈川県に避難し転校を余儀なくされた中高生の自立支援を目的として活動している在茅ヶ崎の任意団体。）

●寄附金用自動販売機の設置

起業家支援財団の飲料自動販売機を、日本ペプシ販売様の協力を得て、アルプス技研の橋本ビル内に設置させて頂きました。今後も設置場所の拡大を地道に図っていきたくと考えています。ぜひ皆様からも設置場所のご紹介等ご支援、ご協力をお願いします。

●横浜市立大学寄附講座終了

本年4月12日（木）に開始した横浜市立大学での寄附講座が、7月26日（木）のビジネスプラン発表会をもって予定どおり終了しました。

●関内フューチャーセンター関連トピックス

①6月20日（水）第2期定時株主総会を開催しました。

②8月21日（火）横浜市林市長が来訪、センター内をご視察のあと、意見交換の場を持たせて頂きましたが、関内フューチャーセンターのコンセプト、運営方針並びに現状についての理解を深めて頂いたものと思います。

（右は林市長との意見交換の様子。中央が林市長）→

②「食と農のプロデューサー養成講座」

（10月4日～12月13日まで毎木曜日 19:00～21:30の全8回）の募集を開始しました。初の有料によるセミナーですが、定員25名のところ40名近くの応募があり、この分野での関心の高さが伺えます。



（事務局より）来年度予算をご審議頂く理事会・評議員会は、皆様のご都合をお伺いした結果、12月4日（火）に決定しました。正式なご案内は改めてお送り申し上げます。なお10月より事務局スタッフとして1名（山成冴子）が加わりました。羽田、治田同様、宜しくご指導のほどお願い申し上げます。